

文字起こし：香害をなくす連絡会 x 経済産業省、2023.02.17

- 商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長
- 商務・サービスグループ 生物化学産業課 係員
- 製造産業局 素材産業課 課長補佐

香害をなくす連絡会

本日司会進行をします、香害をなくす連絡会事務局の日本消費者連盟、杉浦陽子です。

昨年につき、このような場を設けていただきまして、ありがとうございます。また、大河原雅子議員には、引き続き、こういった場を設定していただき、また、塩田さんには、今もご足労いただいております。ありがとうございます。

2017年から、こういった香害をなくす活動を続けてきたんですけれども、昨年2月28日には、参議院で岸田総理が、深刻な香害の問題を受け、必要な研究を進めると共に、公的な場での香りへの配慮の周知を進めていかなければならない、と初めて国会で正式に答弁をし、いよいよ、私たちは、ほんとにこれ社会問題として解決すべき問題、国が対応しなくちゃいけないと、総理自ら言っていたので、ほんとにこれを皆さんに真剣に受け止めていただきたいなと思っていますところなんです。

また、香害をなくす連絡会が事務局も現在担っていますけど、昨年夏に、「香害をなくす議員の会」も発足し、現在82人の地方議員の方を中心に定期的集って、子供たちの環境を中心に、議会質問したり、教育委員会に働きかけたり、かなり盛んにやられています。ぜひ、こういったほんとに大きな動きを受け止めていただきたい、というふうに思います。

今回はちょっと新しい取り組みとして、1月28日から2月10日までの間に、消費者庁が設定しています電話相談窓口「いやや（188番）」に香害で苦しんでいます、という声を集中して届けようというキャンペーンを実施しまして、正式な発表は、消費者庁から数ヶ月後に出ると思いますが、私たちが入力フォームで集計した結果、163件の方が、こちらに電話したよ、という報告を受けていますので、こちらに連絡しない方も大勢いると思いますので、それ以上の

方が実際香害を受けているということで、私たちも把握できていますので、この数を重く受け止めていただけたらなというふうに思います。

最初に香害被害の体験談を聞いていただき、この香害問題というのは深刻になっていますので、その声を聞いていただきたいのと、それから原因製品の筆頭である柔軟剤に含まれている香り持続技術、マイクロカプセルを、うちの洗剤部会のメンバーの人が撮影してますので、実際見ると綺麗なんですけれども、この綺麗なものが、どれほど多くの人を苦しめているのかと、いうのを想像しながら見ていただけたらなと思います。

香害をなくす連絡会

体調悪くてズームにも出られない方からのお手紙を読みます。

(お手紙代読)

香害をなくす連絡会

次は、マイクロカプセルの撮影に成功している、ずっとしているんですけども、ご本人が化学物質過敏症になられて、かなり重度です。ご本人が、香りとか消臭とか、いろんなものを感じられるので、マイクロカプセルを捕捉することができる、かつ光学顕微鏡で観て撮影をする技術をお持ちです。なかなか普通の人が撮影できないものをしていきますので、綺麗なんですけど、これが私たちの苦しみの原因かと大気汚染の大元ですので、それを想像しながらご覧ください。

香害をなくす連絡会

スライド①私が撮影したマイクロカプセルの写真を紹介いたします。

スライド②これらの蘭の香りの元となる香料の気体を嗅いでみたのですが、よい香りでなんともありませんでした。

しかし、蘭の香りのするマイクロカプセルが使われている「しおり」の香料は数ヶ月経っても気持ちが悪く、咳が出たので、カプセルをみてみようと思いました。

スライド③

マイクロカプセルは、ほとんど透明です。

見つけづらいですが、ここにあるように、反射光を見る PC マイクロスコープで、バックを黒くして、照明をギリギリに絞ると見られました。

スライド④

この写真は、庭のハーブを顕微鏡で見たところですが、プラスチック片と共に透明なマイクロカプセルとその破片が、あちこちに見られました。

スライド⑤

これは、香りの強い柔軟剤や香料を観察したのですが、各社、形はこのように全く異なります。

スライド⑥

マイクロカプセルの一番の問題は、分解されにくいことです。
この左から右へ、8日経ったものですが、ほとんど変化がありません。
この間にまた洗濯をすると、またこういうものがくっついてきます。

スライド⑦

これは、すれ違った人から飛んできた繊維クズです。
洗濯を繰り返すと、このように柔軟剤成分がどんどん溜まって、すごいことになります。

スライド⑧

これは我が家に飛んで来た、顕微鏡観察中に破裂したものです。
このように PM2.5 が中から放出されています。

スライド⑨

こちらは、国立病院の混み合う外来で、破裂したマイクロカプセルがたくさん飛んでいます。
問題は、右側の、おびただしい数の 1 ミクロン (μm) 以下のカプセルです。

スライド⑩

これは、床屋の椅子で、カプセルのかけらが、このようにズボンに付着したものです。

スライド⑪

これは、宅急便の配達員から、梱包テープに付着したマイクロカプセルです。

コントラストが取れなくてよく見えないですが、破裂したのがくっついてい
ます。

スライド⑫

これは会食の時に、柔軟剤臭い仲居さんから飛んで来たものと思われま
す。

このように、ミクロの爆発が起こっています。

周りに無数の pm2.5 が放出されてます。

特許でも爆発という言葉を使っているものはあります。

以上、数千枚の写真から一部紹介しました。

どうもありがとうございました。

香害をなくす連絡会

ありがとうございます。

今、このようにですね、非常に、目に見えないほどの小さいカプセルが常に弾
けて、体調不良を起こす人も、起こさない人も浴びていると。大気汚染が進ん
でいるという実態が見える化したんじゃないかと思えます。

先程の被害者の声を聞いて、また今のような香り持続機能を内蔵した柔軟剤が
大量に売られているわけですが、マイクロカプセルは実際に初めてご覧になっ
てみて、実際何かお感じになったことがあるかといった点を、3人の方にお話
しいただけたらなと思えます。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

この写真の面白いなというか、大変これ初めてここまで詳細に見て、ついつい
見入ってしまったんですが、これ、後でデータとかいただけますか。

まさに、今回も回答で書かせてもらったんですけど、洗剤の工業会とかにこう
いうふうになってるんです、と見せないといけないかなと思うんですけど、よ
く観察されていて、ついつい見入ってしまったんですけど、大変興味深いもの
をありがとうございます。

香害をなくす連絡会

はい。

まあ、私たちが渡さなくても、この機能を作っている人たちなので、お持ちだろうとは思いますが、私たちがこういうことで、方々で苦しんでいることを理解してもらおうという意味では、送っていただいた方がいいと思いますけど。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

しっかり、こういうのを観察されて、ちゃんと観測されながらやられているのは、大変大事なことだと思います。これは決して思い込みとかじゃないし、皆で観ながら考えていますとちゃんと伝えなあかんと思うので、これは興味深いです、大変ありがたいと思います。

香害をなくす連絡会

メーカーというより、広く社会に知らせたい素材ですよ、これは。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

そうですね。ここんとは確かにそうだなあと。まさに香料の皆様のところもあるし、我々が使ってしまったというのものもあるかもしれない。ちゃんとかういうのを共有したいなと。大変興味深いものをありがとうございました。

被害の方のお話も、ほんとに、すごく辛いというお話、香りだけじゃなくて、実は、過敏症、多分何パターンかあるのかなあと思っていて、香りの成分だけじゃないもので苦しんでおられる、撮影者のかたは、ランの香りじゃなくて、カプセルがという話なんですよ、多分、ことだったのかな、と理解したんですけど、それでよろしいですかね？

香害をなくす連絡会

そうですね、あのう、これラン展というのが植物園で行われていて、そこで、資生堂だったかな、合成香料をシューっとガスで出るのがあり、それをぶっ倒れるのを覚悟で、一応全部嗅いでみたら、なんともないんですよ。いい香りなんですよ。ところがそこで景品でもらったしおり、ランの香りがするしおり、これはカプセルがついていると思うんですけど、何ヶ月経ってもニオイが消えない、気持ち悪くなって咳が出るんで、捨てちゃいましたけど。それで、なんかカプセルが臭いなあと。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

そのカプセル、しおりの写真など、気持ち悪くなるものをずっと手元に置けないというのはその通りだなと思ったんですけど、

香害をなくす連絡会

ちょっと残念ですけど、捨ててしまいました。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

具合悪くなってまで、置くものではないと思う。確かなお話だと思うんですけどね。

香害をなくす連絡会

はい、ありがとうございます。

最初に自己紹介をお願いしようと思ったのですが、お顔が出ないので、のびのびになってしまいましたが、よろしくお願ひします。

商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長

変な肩書きがついていると思いますが、私は、化粧品と香料の業界担当をしております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

香害をなくす連絡会

ご覧になっていたか、聞こえたかわかりませんが、被害者の方とマイクロカプセルをご覧になったの感想をお願いします。

商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長

大変貴重なご意見と情報を本当にありがとうございます。影響を受けておられる、先ほどのお話、ご本人、それから、ご家族の方も含めて、生活に支障が出ているという、支障というような軽い言葉では片付けられないような影響が出ていることについて、私も去年の4月にこの案件を引き継いでおりますものですから、率直な声を伺うのは初めてというのが正直なところでございますけれども、ちょっと今どう表現していいのか、言葉すら見つからないような状態で話を伺っていたというのが今の状況でございます。

元々理系の人間でございますので、実は電子顕微鏡の写真というのはいろいろなものを見る機会があるんですが、このような形で実際に付着したものが破裂をするという電顕写真というのは見たことがなかったので、ちょっとそちら

も、これまた失礼な言い方だったら恐縮なんですけど、すごくフレッシュな気持ちで驚きを持って拝見をしたというのが、現状でございます。

先ほど、製造産業局 素材産業課 課長補佐が申し上げたように、香料のメーカー、私担当しておりますので、彼ら、多分、おっしゃる通り、それぞれの技術に関しての電顕写真というのは持っていると思うんですが、実際破裂したらどうなるかということ具体的に撮ったものまでどこまで見ているかはなかなかわからない部分がありますので、こちらからも情報提供させていただきたいと思いますので、ぜひそのような形で活用させていただければと、まずそういう印象を持った次第でございます。

言葉が非常に軽くて苦しんでおられる方には申し訳ないんですけども、そのような形でご容赦いただければと思います。

香害をなくす連絡会

ありがとうございます。

フレッシュな気持ちで見えていただいたのは、私たちも嬉しいですね。これ苦労して、体を張っていろいろ捕捉し、撮影してますので、それだけ知らせたいという気持ちでやっていますので、ぜひ、見ていただけたらと思います。

そうしましたら、要望書回答を受けて、少し細かい話になります。最後、自由討論にしたいと思います。

香害をなくす連絡会

製造産業局 素材産業課 課長補佐には、以前、下水汚泥肥料の件で、農水省技術普及課の方にご連絡いただいたということで、ありがとうございます。

ちょうど昨年秋に、下水汚泥肥料の活用方針が示されたので、すぐに農水省の技術普及課に資料提供をしました。検討会の話し合いを見ると、全然情報提供、反映されていないようですので、よかったら、またお口添えをお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

ありがとうございます。

これ、いいアドバイスをいただいたとっていて、マイクロプラの塊なんですよ。で、これ、香害だけじゃなくて、衣類からマイクロプラの塊なんで、去

年ほんとにいいアドバイスいただいたんで、私提案したら、肥料の話は私は呼ばれないという大変立派な対応をいただいて、

香害をなくす連絡会

残念です。

ちょっとその回答を伺う前に、一言申しあげたいんですけど、昨年もいろいろ一説ぶったのですが、香害は、現在は、健康被害を感じている私たちだけの問題ではありません。今、健康症状が出ていない全ての人にとっても、人ごとではありません。今さっきご覧になったように、ああいうマイクロカプセルが浮遊している空気を日々吸い込み、肺に蓄積していけば、30年、40年後に肺の病気になってもなんの不思議もないのではないかということです。マイクロカプセル、ナノカプセルの中には、環境ホルモン作用や発がん性のある香料、あるいはタンパク質変成作用のある抗菌成分が入っていますから、ちょっと想像するだけで恐ろしいと思います。それと、シジミからマイクロカプセル香料が検出されているのですけれども、魚介類の汚染というのも、実は進んでいまして、数年後にはもう、香料臭い魚介類しかなくなっているのではないかと、ちょっと私は危惧しています。というのも、ここ数年、毎年香料臭い牡蠣にぶつかる確率が増えています。皆さんもお気づきになっているかわかりませんが、ちょっとそういう怖い状況がどんどん進行しているということで危機感を持っていただきたいです。すでに、マイクロカプセル香害に巻き込まれている当事者なんですね、全員が。ですから、そういうことも自覚なされた上で、対応をお考えいただきたいと思います。

要望の方に参ります。

回答を拝見すると、要望の1なんですけど、改正海岸漂着物処理推進法の規定は努力義務だと、ですから、要望書は、「中止」ということで書きましたけれども、中止や禁止は、事業者に要請できない、というようなことでしたら、そういう言葉ではなく、それ以前になさっていたこういう法律ができるよという周知だけではなく、はっきりとマイクロカプセルを製品に配合することを使用自粛するように行政指導を要請していただきたいと思います。それは、できることではないかと思うのですが、お答えいかがでしょうか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

こないだの日弁連のまさに中下先生なんかの議論の中でも、なかなか厳しいなというのは、先生からもコメントいただいたような気がするんですけども、これをなかなかどうやるかというのは、僕はできるんじゃないと言われて、

難しいなというのが、率直な意見なんですけれども。特に、日本の場合だったら、去年も確かご指摘あった通りで、シジミからとか、魚介類からとか、野菜からみたいなお話があったとは思っていて、確かに、特に日本の場合だと、農政が積極的に、そういう使い方しようとしているという、とっても不安な状況だったというのは、僕も共有できているので、と思いつつ、ここについてどこまでできるかと言われると、正直ここに書かせていただいた通りで、なかなか厳しいなというのが実態ではあるんですよ。なので、そののところ、実際、ただ、反面、僕があまり詳しくないところ、まさに**商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室**のところの専門なのかもしれないけれども、スクラブとかやっているんですよ。実際、当時、まさに一番問題になった話、洗顔スクラブだったと思うんですけど、ただ、ああいうところのスキームを使うというのは、なんか一つ考え方としてあるのかなあと思いつつ、当時、実際、これ、**商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室**のところに、まさにやっていただいたお話だと、洗剤の顔洗う時のスクラブの話とか、それから後は、化粧かな、確かあったんじゃないかと、化粧やってるかなんですかもと、実際当時、どうやったんですかね。

商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長

すいません、完全に勉強したわけではないので、ちょっと、なかなか、こうでしたというのを今すぐ答えられる、あれなんですけど、何か強制力を持ってやったというよりは、化粧品の業界団体に対して、弊省から働きかけをして、それに応じて、業界団体が自主的に、強制力ではない形で対応したというスキームなので、だったというふうに聞いてはおります。ただ、何をどういうふうにやったかということは、探ってみないと。化粧品ではなくて、洗顔料とかスクラブの洗顔料からのカプセルの粒子についての対応だったということです。

香害をなくす連絡会

まさにそれをお願いしているわけですよ。自主規制をお願いしてくれと。

香害をなくす連絡会

せめて。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

今回の、前回はそうですけど、こういったお話し合いって多分彼らにとっても参考になる話だと思っていたので、私あのあとツイッターで相当叩かれました

けど、やはりこういうのをちゃんと伝えるのも私の仕事だと思っているので、ちゃんと伝えて、こういうことみなさまおっしゃってますよと、何か検討できないかという話をするのは、そういうことは可能だと思っています。

香害をなくす連絡会

ぜひともそれをお願いしたいと思います。

法律で、これをやりなさいと言っているんですから、法律があるんですから、別に経産省さんが、メーカーに言うことは何ら遠慮することはないと思いますので、ぜひともよろしくお願いします。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

ありがとうございます。

香害をなくす連絡会

あとその、これに関連してなんですけど、こういうマイクロカプセルみたい
に、神経を刺激し続ける徐放技術を家庭用品に使うのは、経産省さんとして
は、どんなふうにお思いでしょうか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

この後の問いに近いのかしら。3番の問いに近いのかなと思っていて、これ自
体、正直なところ、僕ら安全性を確認、これに関しては、前回の中下さんの議
論があったと思うんですけど、安全性を確認した上でということであればその
範囲において使うことについては、しかし、過剰に使うというのはどうかと思
っているんですけど、安全性を確認したものについては、僕はこの範囲におい
て使うことについては、妨げるものではないと思ってはいる。ただ当然、ポス
ターなど今、課に4枚貼ってちょっと貼りすぎて怒られてはいます。各個人判
断してもらおうというのはある、なかなかそのところは、まあ、安全性が確認
されているものに関して積極的に止めろというのはなかなか厳しいなど。

香害をなくす連絡会

徐放技術に関して安全性は、確認されているのでしょうか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

これ自体は、まさに、香料の会社さんで確認されていると思うんですけど、実
際そのあたり IFRA さんとかで、香料、確認されているとは聞いているんです
けど、そのあたりどうなんですかね。

香害をなくす連絡会

すいません、いいですか。

吸入毒性は確認してないんですよ。要するに、IFRAさんとおっしゃいましたけど、国際機関では、確認しているのは、接触毒性とか皮膚へのアレルギー毒性であって、今までこういうマイクロカプセル、プラスチックの細かい粒子を吸入したときのリスクは、全く度外視されているのが現状だと思います。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

ありがとうございます。

香害をなくす連絡会

またこの問題、あとで皆さんから意見が出るとは思いますが、ちょっと一応要望の回答の方だけ進めさせてもらっちゃいます。

要望②：合成洗剤の団体にだけ[5省庁連盟ポスターの配布]ということなんですけど、経済産業省さんは、あらゆる産業界に通じていますので、もっと積極的に、岸田総理も言っているわけですから、ポスターの周知に動いていただきたいなど、これは要望です。

要望③：これも、香料の自粛は求められない、とおっしゃるのでしたら、やはり総理が言うように、香料の使用の配慮を職員に求めるようお願いしたいと思います。今さっき、ポスターを貼ってらっしゃるとおっしゃっていましたが、でも、製造産業局 素材産業課 課長補佐さんのところだけじゃなくて、あちこちにも貼ってあるのでしょうか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

ごめんなさい。私、自分の課くらいしか行かないんで、商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室のところ貼ってますよね、当然。

商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長

貼ってます。ステッカーも貼っております。

香害をなくす連絡会

そうですか、ありがとうございます。
どんどん活用していただければと思います。
要望に関しては、ここで結構です。
ありがとうございます。

香害をなくす連絡会

では後 25 分ぐらい、自由に意見交換したいと思います。
私から伺うのは、先ほど感想言っていたでよかったですけど、この問題、非常に苦しんでいる人がいることに対して、どうにかできないかと思うんだけどね、ということをお願いしていたので、私たちのために、動いて下さるなあと思っていたんですけど、なかなかその解決方法と言いますか、そういうところをつまづくということなんですけども、今言った徐放技術の安全性についての確認だとか、さまざまな安全性の確認というのは、正直できてないわけですよ。今、連絡会メンバーが言ったように、皮膚は確認していても、吸入リスクは確認していないだとか、単発の成分については確認していても、複合的な影響については、確認していないだとか、いろいろな問題が IFRA の研究にはあるようです。それについて書かれたものを読んだら、そのように書いてありました。だから、業界の人が言うことを鵜呑みにせず、経産省は もちろん当然、経済の発展のために、というところかもしれませんが、その前提として、国民が暮らす経済の発展のために、ですよ。で、その国民のところ、これほど多く苦しんでいる人が、まあもちろん、香害の問題だけではないと思いますけど、さまざまな企業の活動によって健康を損なうということが多々あって、そのうちのひとつとして香害というのは、非常に 21 世紀の新しいタイプのパブリックな害として今、非常に注目されていて、多くの人がネット上でもご覧のように、非常に苦しんでいるよということを訴えているわけですよ。ですので、ほんとに解決しないといけないと思うのであれば、どうやったところで経産省は働けると、この 2 年 3 年ぐらい関わられてきた中で、どういうところで経産省としては問題解決のために働けるといふふうにお考えでしょうか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

私でいいのかしら。
まさに、前回の日弁連さん[日本弁護士連合会主催シンポジウム「香害問題を考える」、2023 年 2 月 13 日]もそうなんですけど、まず、我々、ちゃんとう皆さんに向き合うということ、この会議、私だけしか出なくてちょっとびっくりだったんですけど、みなさん、まず向き合うということがまず一つ大事。で、

僕、うちの関係団体とかにも、ばあつと撒いて、ちゃんと見てくれと。で、実はあの会議、僕すごく得られるものが多かった、安全性の確認のところ、もしかしたら、疑義があるんじゃないか。坂部先生もおっしゃっていたところだと思っていて、我々もこのところすごく、彼らも含めて実は結構夜遅くだったと思うんですが、皆さんには大変、政治家までお付き合いいただいて、申し訳なかったんですけど、やはり彼らも、まさに、今おっしゃった通りで、今まで香料会社の言うことを鵜呑みにしすぎたのではないかというのは、少し疑問を持ってもらってもいいのではないかと。こう言ったのをちゃんと繋いで、それがすぐ成果に結びつくのであれば、早くやれよ、という話なんですけど、なかなか、ここ、どこまで迅速にできるかというところがあるのかもしれないんですが、皆さんから見ると、すごく歩みが遅くて、とんでもなく困っているのに、なんでこんなに遅いんだ、と言われてしまうとは思いますが、ただ、一步一步着実につながられてるのではないかと思っていて、ああいうふうな会議、すごく率直な、皆さんの現状をお伺いできたということは大変ありがたかったし、まあちょっとポスターがむしろネガティブに働いているというのは、僕あまり、ちょっと衝撃的だった、貼ってるのでショックだったんですけどもというのも含めて、いろいろなご示唆いただけたと思っていて、プラス、行政側が出なくて、実は勝手にやってるのではなくて、出た上で、自分ごと化した上で、ちゃんとみなさんもそうだし、それから、我々が持っているような業界側も、産業側は人なしに発展していいわけじゃない、特に僕らなんかは、生活用品作っているの、そのところって、そこを抜きにしてあり得ないと思っていて、あの後散々ツイッターで叩かれて、僕は、ちょっと凹んでるんですけど、でもああいうふうに、いろんなご意見いただいて、こういう製品ならいいんじゃないかみたいなのは、すごく我々としてはありがたいんですね。全部廃絶じゃなくて、一層のこと全部廃絶してみたらどうだと言ったんですけど、ちょっと言いすぎて、あれはあれで、別の方面で怒られそうな気もしているんですけど、なかなかそういう意見をいただいたというのも、僕は大変ありがたいと思っていて、多分、洗剤の業界さん含めて、みなさんなかなかああいう場に出てくるのは、難しいとは思っているんですけど、ちゃんと僕がある種、インタープレターというかインターフェースとして、コミュニケーター、ハブとしてか、やはりああいうふうに意見交換して、さまざまな知見をフィードバックするというのが、大事だと思っています。

香害をなくす連絡会

すいません、短くていいんですけど、炎上って、何が問題だったんですか。私知らないんで、すみません。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

僕も、経産省の奴はわかってないと、「香害」と調べて、リアルタイムで検索したら、ものすごいこと叩かれていて、だいぶ、私のガラスの心は、砕けてます。

香害をなくす連絡会

私はちょっと知りませんでしたけれども、他の省庁の方が来なくて、日弁連のシンポジウムにあなただけいらしたのは、そこは勇気のある行為として、私たちはほんとはよかったですと思っています。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

当然だとは思いますが、あるいは出ないと、我々だって、何かわかって、頑張ってます、考えてます、大変ですね、と口で言うのは簡単だと思うんですけど、ただ、

香害をなくす連絡会

ちょっと、あの、時間がないので。ただその先ほど、安全性の確認を怠っていたのではないかと、ちょっとおっしゃるところが、気になるんですけど、洗剤工業会が、ということですか。まあ、日弁連のことばかり言ってもあれですけど、香料が問題だとおっしゃってた気がするんですが、香料だけが問題だとは思ってないので、ちょっとそこが気になる場所です。

香害をなくす連絡会

マイクロカプセルは、香料産業界が作っているものを買っているんですか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

というふうに聞いてます。

香害をなくす連絡会

メーカーが作っているのではなくて、香料業界が作ってるんですか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

香料業界が買っているものを、多分何パターンかがあるとは思っていて、必ずしもそうではないと思うんですけど、基本的には、香料工業会さん、ないし、香料の会社さんから買っている原体で作っていると聞いているので、そののと

ころを誰が負う（？）かというのは、すごく難しいところだと思うんですが、お前んとちちゃんと疑ってなかったと言われたら、なんとも言えんだけど、

香害をなくす連絡会

ごめんなさい。

先ほど、私が言った話が、ちょっと正確性を欠いていたと思ったんですけど、IFRA（国際香粧品香料協会）が、吸入毒性を確認してないと言ったんですけど、香料について、ほんの数例は確認している。ただ、ちゃんとはやっていない。あと、マイクロカプセル入りの香料は、前提としてないんですよ、安全試験に。なので全く、カプセル入りの香料の安全性は、確認されていない、範疇外であると、それが正確な話です。

香害をなくす連絡会

農薬もそうですけど、成分の安全性は確認されていても、製品になった時の安全性は確認されていないということは、多々あるんですよ。だから、これも、マイクロカプセルが入っているということは、かなり重要なキーなので、それが確認されていないというのは、ほとんどやっていないに等しい感じになっちゃうんですけれども。

つまりその、経産省として、この香害というのをどう捉えて、解決すべきだということであれば、何を持って解決できるとお考えかということです。

商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長

先日の日弁連さまのシンポジウム、香料工業会から、何名も傍聴させていただいていたということで報告を受けてまして、翌日、業界の会合があったということで、そこでも概要の報告をしていると、というような形で、皆様から見ると、遅いというお叱りを受けるのは重々承知の上なんですけれども、やはり、業界の意識をきちんと変えるべく、我々がそれに向けた道筋をとっていくというのも一つすごく大事なかなあ、と思っております、そのようなことも私と香料工業会との間ではやりとりを、こういうふうに報告をしましたということを含めて、やりとりをしておりましたり、そういう形でまず情報をきちんとシェアしていった上で、何ができるのかということを考えていかなければならないかなあということだと思っております。で、たまたま昨日なんですけど、石鹼洗剤の業界の方と会う機会があって、少し話をしていたところで、先程の香料業界発、なのか、洗剤業界発なのかということに関してなんですけど、

当然、香料業界発の部分もあるけれども、洗剤業界としてのデマンドに、香料業界が答えてもらっているという部分もあるということで、お互いどちらかが何、どうこうということではなくて、お互いに協力して解決をしていかなければいけない問題なんですよね、ということを経界の方と昨日もその話をしていたところでして、パブリックな場でそういった話をまずできるようになるということも、一つ、まず、一歩めとしてご理解いただければなあ。こういう対応を繰り返しながら、どういうふうに進めるのがいいかを、きちっと考えた上で、お互い理解をして前へ進めるということに向けて、これからも、私たちは、働きかけを続けていければなあ、というふうに考えております。具体的な策を、こうします、という宣言ができなくて大変恐縮なんですけど、そういうふうにも今考えているところがございます。

香害をなくす連絡会

日弁連の時も、さんざん言った話なんですけど、香りの問題とか、香料業界の問題という感じのご発言があったんですけど、私たちが、せめて一回洗えば香りが落ちるようにしてください、とか、カプセルの徐放技術をやめてください、みたいな、現実、ものすごい製品の被害で困っているということ、その香料業界なのか、洗剤石鹼工業会さんなのか、たぶん、全然気づいてなかったのではないかと思うんですよね。香りが移って、それによって被害がものすごくなくなっているという製品の問題、そこに関して、見ていただいた方は何か見解述べていらっしやいませんか。

商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長

申し訳ないんですけど、そこまでの細かい中身の話は、まだ具体的に聞いてはいないので、逆に、今日伺った話を踏まえて、また改めて彼らと話をしてみたいな、と思っております。すいません。

香害をなくす連絡会

私が思うには、香料界も洗剤業界も、双方にというよりは、柔軟剤を開発したのは、元々柔軟剤を作っている洗剤業界だと思うんですよ。で、そこに香りをつけたというのを付加価値にして、売り上げを倍増させてきたということがあるので、主体はやはり洗剤業界ではないかなと思います。もちろんそこに香料業界が乗っかることで、売り上げ、香料業界も伸ばしてはいると思うんですけど、企業規模が、多分、恐らく、全く違うと思いますね。香料業界だけでテレビCMバンバン何億円もかけてるというのは聞いたこともないので、やはりそ

この駆動と言いますかエンジンは、洗剤業界なのではないかと。花王さんなんかは、トヨタに匹敵するぐらいのテレビ CM 広告を出してますし、

香害をなくす連絡会

P&G さんの方が、

香害をなくす連絡会

あ、P&Gの方が上ですか。ちょっとそこは、存じ上げませんが、かなり、10本の指には恐らく入るということで、それだけ売り込む力があるということです。

香害をなくす連絡会

香料メーカーは、日本だけじゃなくて海外の香料メーカーのも使っているんでしょうか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

まず、香料業界は、BtoBの世界なので、あまりこう頻繁にCMを打つ会社ではないというのが多分あって、そこは多分観点が違うかなと思ってます。洗剤メーカーが買ってる業界に関しては、以前伺ったこともあるんですけど、海外もあるやには聞いていたんですね、どれくらい、ここら辺は多分、営業秘密だと思うので、

香害をなくす連絡会

なるほど。海外メーカーのものを使っている場合は、イソシアネートが含まれる可能性があるみたいな、逆読みすればそういうこともあるなあと、今ちょっと思ったんですけど。

あと、この間のご発言で、柔軟剤自体の基剤のすごく気持ち悪い臭いがするから、マスキング剤が必要だ、みたいな話をちょっとされていたんですね。多分、柔軟剤の基剤は陽イオンの第四級アンモニウム塩、多分揮発しにくい成分のはずなんですけど、揮発しやすい成分と一緒にになると、揮発しやすくなるということをおっしゃったことがあって、それもあり、あと、いろんなところに付着するカプセルの性質で、人の使ったものがくっついて、最終的に、ものすごい香りのものと、ものすごい消臭系のニオイと、最後に残るのは、その嫌なニオイが、自分の衣類に残るな、というのが、すごくよくわかったんですね。なので、揮発しやすい成分を加えることで、いやなニオイも撒き散らして

いるんだな、香りも嫌なんですけど、元々の基剤のニオイも撒き散らしているような気がするの、やはり、余計に揮発させるような、仕組み自体をやめてもらうのが、一番いいな、というふうに、ちょっと思ったんですけど。

ごめんなさい、ちょっと感想みたいになっちゃったんですけど。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

おっしゃるように、供出(?)みたいな感じなのかなと個人的には、パッと思ったんですけど。実際にどういう?あるかっていうのは、確認しないと、何とも言えないというのはまず一つ科学担当している、

香害をなくす連絡会

坂部先生のお話で、ものすごく心因性、脳が嫌なニオイを記憶することが問題だみたいなことを、そのように理解されているんだとすごく思ったんですね。これは、化学物質過敏症の人が、変に、嫌なように記憶していて、反応している一部の人だけの問題だなと思っていらっしゃるんだな、と思ったんですけど、私たちが言っているのは、そういうことじゃないんです。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

あれは単純に坂部先生に確認したかったのは、まさに両方の効果、香りが記憶にすごく結びつくというお話で、これって、どっちが先かって、なかなか難しいとは思いますが、ともすれば、僕実は、ラベンダーの花のいろいろと提案受けたこともあって、香りと記憶ってすごく結びつきが強いんですよね。そうなった時に、坂部先生のお話にもあった通り、その部分ていうのがすごく説明が難しくしているというお話があつて。

香害をなくす連絡会

私たちは、香りだけじゃないんですよ。香りだけで苦しんでるわけじゃないんです。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

香りがトリガーになりやすいんだな、というのはなんとなく、

香害をなくす連絡会

それはなりやすいと思うんですけど。だから、それを個人の体質のせいとか、化学物質に弱い人だけの問題だみたいなふうに思われている方が多い。ここが多分、全然歩み寄れないところじゃないか、

製造産業局 素材産業課 課長補佐

私は多分、そうは思ってなくて、これってみんなの問題だよ、とまさにその通りだと思っていて、すでにみんなが吸入し続けているのであれば、そうだし、坂部先生もおっしゃった通りで、あれって、まず最初に発症するのが、化学物質に弱い人だという話だったと思うんですよね。発症しやすいというのかな。具合が悪くなる。

香害をなくす連絡会

そうなんですけど、香りの害によって発症者が増えているんですよ、逆に。発症している人だけが、皆騒いでるってみなさん思っているんですけど、そうじゃなくて、ここ1年前に発症しましたとか、ほんとによく聞くんです。香りを使っていてとか、今日の冒頭の話もそうなんですけど、そこがちょっと逆になっちゃっているという気がしますけど。坂部先生は、そのことは、全然お話されなかったのですよね。なんかもう香害イコール化学物質過敏症の話です、数年前は、化学物質過敏症と言ったら、シックハウス症候群の代名詞みたいな感じだったんですよね。それがここ15年ぐらいで、化学物質過敏症、香害です、イコールみたいな感じで使われちゃっているんですけど、逆なんだということちょっと認識していただけたらいいかなと思うんですけど。お願いいたします。

香害をなくす連絡会

また一つ質問したいんですけども、香害は香料だけの問題ではないであろうと、主成分や添加剤やそしてマイクロカプセル、それらの相乗効果というか、複合影響が何らかの体調不良を起こさしているのではないかと思っているんですけど、またその柔軟剤だけの問題ではなく、最近、特にコロナになって以降、抗菌剤などによって苦しんでいる人もかなり声が多く日消連にも届けられていて、つまりは、経済発展がここ何十年戦後起こった中で、人体、また環境にも有害な化学物質が非常に多く蔓延する社会になっているという捉え方をしています。私たちは、柔軟剤だけじゃなくて、全般にこういったものを、化学物質自体、人工的に作っていくものを減らしていくべきだというスタンスなんですけど、そこは、経産省としては、なかなかそれは、うんとは言えないんでしょうか。

香害をなくす連絡会

ちょっと、あのお、すいません。

経産省だけ、共有しなかった画像があるので、要するに、カプセルが弾けた時に、VOC がどれだけ出るかという、1 個共有していいですか。

香害をなくす連絡会

はい、まだ大丈夫です、時間。

香害をなくす連絡会

特に予定なかったんですけど。

これ、12月の室内環境学会で報告された、柔軟剤のVOCの挙動に関するデータなんですけど、半導体のVOCモニターというので、表示濃度なので、物質間感度が違うので、絶対値としては議論できないということですけども、柔軟剤を使って洗ったタオルを擦った瞬間に、ものすごく数値が跳ね上がると。室内のTVOCの暫定目標濃度は、400 μg なんですけど、これはもう10000を超えてまして、この測定器は、10000まで、9999までしか測れないので、もっと出ると。つまり、カプセルを擦った瞬間に大量のVOCが発生している、その場面に私たちは日々出くわしちゃうてる、その都度苦しい思いをしているんですけど、多分これ、瞬間的に弾けた後は、また濃度が下がるんだと思うんですね。それで、普通に測っていたのではわからない。こういう擦るようなテスト、実験をしないと、出てこないと思うんですね。ということもわかっているの、香りだけの問題じゃなくて、TVOCというのは、一つの、断定できないトータルVOCなので、化学物質そのものがどれが影響しているかわからないと思うんですけど、とにかく、化学物質の問題なんだということを知ってほしいなと思って今画面を共有させてもらったんですけど。今杉浦さんが言っていたように、私たち、大量の化学物質に晒されてる、それで、弱い人が発症しているという状況に、日用品であるからこそ、ものすごく影響が大きいということを、私たちは訴えているんです。

香害をなくす連絡会

過敏症の人が悪いんじゃないで、過敏症として病名がついていない人も、大量の有害化学物質にさらされていることは、決して健康上よくないし、環境にもよくないという、包括的、網羅的捉え方を私たちはしてるんですけど、化学物質自体を減らそう、ということについては、やはり経産省としては、納得がいかないですか。賛成できかねるでしょうか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

多分、難しいというか、化学物質を減らすということに関しては、有害な化学物質をなくそうというのは、僕らも、まさに、そこは、むしろ、皆さんと一緒にだと思っているんですよね。ただ、ある種、我々の身体だって、この大気だって化学物質だと思っている、だから、化学物質をなくすというのは、ある種、宇宙を終わらせるぐらいしかない方法がないんですけど、

香害をなくす連絡会

人工的な化学物質です。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

有害なというのは、なかなか、このあたり議論が難しいところだと、

香害をなくす連絡会

人工的なでもいいですけどね。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

アーティフィシヤルなものが必ずしも有害かという、なかなか難しいところがあると思っているんですけど。

香害をなくす連絡会

そういう論理の展開だけで、時間を食ってしまう、

製造産業局 素材産業課 課長補佐

そうですね、だから本当はこういうのを書いてもらえると、僕も考える時間があつたと思って。我々は、必ずしも、化学物質、有害なものをなくすというのは、むしろ一緒だと思っているので、余計なものを使うべきじゃないというのは、まさに、一緒だと思っているので、

香害をなくす連絡会

多いから化学物質過敏症みたいな人が増えちゃうんだと思うんですよね。たくさんあるんで。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

そうですね、そのところは、なかなか難しいところなんだと思います。

香害をなくす連絡会

じゃあ、商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長に、そのこと、ちょっと一言。やはり、経産省的には、経済発展は、バンバン化学物質作っていかなきゃいけないというスタンスなんですか。

商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長

ごめんなさい、ちょっと私自身がこの点どうお答えするか、今瞬間的には、回答持ち合わせていないというか。ちょっと化学物質の管理の担当課の人間とも話してみたいというのが本音です。

香害をなくす連絡会

私どもは、有害化学物質削減ネットワークと申しまして、環境省さんと経産省さんが共管で、PRTR 制度をやっておられます。PRTR を説明する必要ないと思うんですが、事業所が特定の物質を年間どれぐらい排出したり移動したりしているかというのを、全部届け出て、市民がアクセスできる情報公開的な制度なんですけど、そこで、経産省さん、毎年、データ集めていただいて、我々も経産省さんとか環境省さんのご報告を毎年いただいているものですから、経産省さんが、何も化学物質をたくさん出す省庁じゃなくて、もちろん、減らす方向でも、当然検討してくださっていると思うんですが、その際に、やはり導きの一つのガイドラインとなるのが、あまり一般には知られていないんですけど、SAICM という国連の目標がありまして、2020 年が、10 年延長されて、2030 年目標になりましたけど、そこまでに化学物質のリスクを最小限にするというのを、SDGs とともに、2030 年目標で掲げております。ですから、当然、グリーン・インダストリーとか、それからエコロジカルな近代化とかに向かってやっていただくのが、現在の方向性だと思うんですが、その中に、この問題も、マイクロプラスチックの問題、あるいは香害の問題も入れて、全体として進めていっていただきたいなというように考えております。

香害をなくす連絡会

ちょっと経産省の方にご理解いただきたいのは、マイクロカプセルの中に、香料や消臭成分を入れて、それが破裂するという事は、単に中の香料を浴びるだけではなくて、カプセルの合成樹脂の小さなものを吸い込むことと、あと、カプセルが破れた時に、プラスチックのモノマーですよ。非常に危険なもの

も扱っていると、例えばウレタン樹脂の場合は、イソシアネートのモノマーを吸い込む可能性がある。単に香料を浴びるだけではないという危険性が、非常に大きな危険性があることをご理解いただきたいのと、やはり、経産省さんに申し上げる話じゃないかもしれませんが、マウスの実験かなんかで、それを大量に吸い込ませて、いったい何が起こるかというような実験をどこかの省庁で、やっていただかないと、もはやこの問題は、人間にかなり影響を与えているということで、どこかの省庁にお願いしたいと思います。

香害をなくす連絡会

最後に、石鹼とか、自然に還る良い商品を出してる産業はたくさんあるわけなので、別に、合成洗剤のメーカーだけの応援をしなくても、優良な商品を応援するのも、経済産業省さんの役目じゃないかと思えます。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

僕、石鹼自体というか、洗剤というか、合成洗剤とか、パーム油とか使ってるど天然かなあと思ってるし、そこのところ非常に難しいなと思っていて、

香害をなくす連絡会

いえいえ違う、、
そこからですか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

そこって、難しいなと思っていて、

香害をなくす連絡会

難しくないです。

香害をなくす連絡会

自然に還るか還らないかですよ。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

ごめんなさい、その辺りって、、

香害をなくす連絡会

石油から作っているかどうかです。

香害をなくす連絡会

洗剤って一言で言っても、合成洗剤と石鹼は、全然違いますから。

香害をなくす連絡会

PRTR に出てくる有害なものが、ほとんど全部合成洗剤。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

ごめんなさいね、PRTR の時に僕、石鹼の活動が、ロビーじゃないけど、かなりあったというのがなんとなく存じ上げているので。過去の資料を拝見した時に。

香害をなくす連絡会

それ逆でしょ？

石鹼も合成洗剤と同じようにしちやえばいいみたいな動きがあったと聞いてますけど。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

多分そこが捉え方なんだろうなと思う。

香害をなくす連絡会

石鹼も PRTR に入った方がいいと思っていらっしゃるんですか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

率直に申すと、意見別れると思うんですけど、化学物質だと思うんです、石鹼ですら。そこってむしろ、

香害をなくす連絡会

そのロジックは無理があります。いくらなんでも。

香害をなくす連絡会

この間、合成洗剤飲んで人が死んだじゃないですか。殺人が起きたじゃないですか。

石鹼で魚は死なないんですよ。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

石鹼で魚死にますよ。

香害をなくす連絡会
量の問題。

製造産業局 素材産業課 課長補佐
ドース（量）があると思うので、それはなんとも言い難いな。

香害をなくす連絡会
ということは、石鹼と合成洗剤を同一視しているということですよ、結局。

製造産業局 素材産業課 課長補佐
同一視しているというか、そこを、両方とも正しく判断すべきなんじゃないのかという気がするんです。

香害をなくす連絡会
生協とかですね、自然食品店とか、そういうところでは、合成洗剤扱ってない生協、しっかりした生協は扱ってないわけですよ。柔軟剤も扱ってない。ということについては、どういうふうにお考えになりますか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐
そこは多分、個々人の製品の選択の範囲だと思ってるんです。製品を選ぶ段階で、合成洗剤やってませんよ、という商店については全く妨げるものはないと思っているので、そこは、あってもナチュラルだと思うんですけど、

香害をなくす連絡会
じゃあ、そろそろ最後に、変な質問かもしれませんが、香りが好きだとか、香水が好きだとかおっしゃってましたけど、柔軟剤とかは使ってらっしゃいますか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐
僕柔軟剤使ってます。静電気で、バリバリなっちゃうんで。服とか。そういうものが防げる、

香害をなくす連絡会
なるほど。

製造産業局 素材産業課 課長補佐
必ずしも、悪いものだけではないと、

香害をなくす連絡会

もしかして、自分が使っているもので苦しんでいる人が、先ほどの話にあった被害者のかたのような人がいるかも、という想像はされませんか。

製造産業局 素材産業課 課長補佐
想像はします。

香害をなくす連絡会

でもやめない？

製造産業局 素材産業課 課長補佐

使用量を少し、洗濯機で回すときに、少なめにするというのは、個人の努力でしてまずけど、

香害をなくす連絡会

ああ、なるほど。

製造産業局 素材産業課 課長補佐

僕の場合、化繊なんで、なかなか冬なんか、バリバリの静電気になってしまうんで、これ使わないと、むしろ着づらいなのがあります。

香害をなくす連絡会

50年前の人はそれでも服着てたんですけどね。

商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長
長さんは、使ってらっしゃるんですか。

商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長

私非常に肌が弱くて、バリバリのタオルを使うと、すれて痛いというのがあるので、正直言って、やむをえず使っているというのが今の状況です。

香害をなくす連絡会

なるほどねえ、

香害をなくす連絡会

肌が弱い人は、柔軟剤は、使わないでと、皮膚科の看護師さんとかお医者さんの、これは常識で、ものすごく刺激が強くて、かゆみとか、肌荒れの原因になるんですけど、みなさん、それ知らないで、逆に柔軟剤使っていて、柔軟剤をやめたら、ものすごく肌が回復したと、アトピーが出なくなったという話はよく聞くので、一度やめてみていただいた方がいいかなと思います。

商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長

やめてみたんですが、失敗しました。やめたことあります。

香害をなくす連絡会

石鹼に変えたんですか。

商務・サービスグループ 生物化学産業課 生物多様性・生物兵器対策室 室長

石鹼に変えましたけれども、私の場合には、実は効果が出なかった。レアケースなのかもしれませんが、逆の効果が出てしまったので、やむなく使っておりますが、ただし、実は香りそのものというものが、あまり、服から香りがたつのが好きじゃないので、香りのゲージ、あれを信用してよいかというのは、みなさんにご異論があるのはわかっているんですけど、香りのゲージが一番低いものとか、そういうものを選ぶようには頑張ってはいます。全然皆さんのご満足いただける回答じゃないのはわかっていますが、そういうふうにはしているところです。

香害をなくす連絡会

いえいえ。

ちょっと時間超過してしまいましたが、私たちのことに耳を傾けて頂けているなあ、という気はするんですけど、本質的なところでのご理解がなかなか共有できないかな、というのが、正直なところではあります。ただ、やはり、被害者の声を聞いたり、マイクロカプセルを初めて見ていただいたりする中で、驚いていただいたり、苦しんでいる人の状況に思いを寄せるといというのは、今後も続けていただきたいと思います。

まあ香り好きで、何か今後体調不良を起こさないことを、私たちは、願っております。また日消連発行の「香害のない暮らし」という本の中に、石鹼の使い方、なかなか難しいというお声もありますが、やはり柔軟剤は非常に有毒だということと、環境にもよくないということで、石鹼がベストだとは思わないのですが、石鹼以外のアルカリ剤とか、いろいろなものの使い方、私たちが作ったブックレットがあるので、お送りしますので、いろいろ試していただいて、多分ご自身の生活が変わることで、社会も見えてくる部分もあるかと思しますので、引き続き、耳を傾けていただけるとのことですので、ぜひ、よろしくお願ひしたいと思ひます。